

令和元年度事業報告

区 分	内 容
<p>1 基幹調査研究等事業</p>	<p>(1) 都市政策に関する調査研究</p> <p>① 総合研究</p> <p>福岡市における災害に強いまちづくりに関する研究 「外国人の防災－みんなが助かる社会の構築に向けて－」</p> <p>近年、市民生活に多大な影響を及ぼす自然災害が多発しており、日頃からの備えの重要性が増している。一方、福岡市では外国人の在住者と来訪者が増加している。</p> <p>本研究は、特に外国人防災の観点から、福岡市の現状および災害時に外国人が抱える課題や対策について、統計データや施策の調査、外国人の防災に関わる資料調査、各自治体等のヒアリング調査に基づき分析を行った。</p> <p>福岡市における誰もが助かる社会の構築に向けて、「ステークホルダーの役割と連携」、「実効性の確保」、「外国人への情報発信における配慮」、「技術と人間の役割分担」、「平時と発災時のシームレスなつながり」、「変わる外国人の位置づけ」の6点を示唆し、外国人の防災力の向上は、子どもや高齢者などを含む地域全体の防災力の向上に寄与することを提示した。</p> <p>② 個別研究</p> <p>ア 防災と地域スポーツコミュニティ（フォローアップ研究）</p> <p>昨年度の同テーマの個別研究の深化を図るため、今年度は、校区防災訓練の一環としてのワークショップ開催や、聴き取り調査など、地域での実践を通して、水平展開していくための課題を洗い出すことに主眼を置いた。</p> <p>イ 情報技術を活用した食品廃棄物データの一元化による業務の合理化及び資源化促進に関する研究</p> <p>事業系食品廃棄物の再資源化の促進には、廃棄物データの一元管理と見える化による静脈資源の市場価値の向上が有効であると仮説を立て、データの一元管理及び付加価値の創出を可能にするデータシステムの構築及び実装化に向けた調査研究に着手した。（R2年度に継続予定）</p> <p>③ 共同研究</p> <p>日韓共同研究（日韓海峡圏研究機関協議会）</p> <p>日本及び韓国の計10の研究機関で構成する日韓海峡圏研究機関協議会総会へ参加し、研究報告を行った。</p> <p>◆研究テーマ「人口問題と地域活性化Ⅲ」</p> <p>(2) アジア交流ネットワークの形成</p> <p>① アジア交流プラットフォーム形成</p> <p>広くアジア諸国の景観を紹介し表彰するアジア都市景観賞を国連ハビタット福岡本部を含む3団体と共催するなど、アジア交流事業に取り組んだ。</p>

区 分	内 容
	<p style="text-align: right;">(受賞都市：7カ国，14件)</p> <p>② 国際視察・研修受入れ 福岡市の国際視察・研修受入事業における海外からの視察・研修受入れ窓口として、福岡市関係部署等と、日程や視察内容の調整を行った。 (4カ国・地域，延べ20団体，延べ402名)</p> <p>③ 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン） 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の助成事業として採択を受け、中国高校生訪問団を招き、福岡市の施策及び福岡市内や周辺の大学の研究室の先端科学技術研究の取組みを紹介した。</p> <p>(3) 情報の収集・分析・加工・発信</p> <p>① FUKUOKA Growth 2020 福岡市の成長性を示すさまざまなデータを紹介し、国内，世界における福岡市の存在感を高め、ビジネスや交流を促進することを目的としたデータブックを発行するとともに、ホームページを通じて情報発信を行った。 発行部数：1,000部</p> <p>② 都市政策資料室の運営 アジア地域を含む都市政策関係図書，調査・研究成果，行政資料等を収集するとともに，一般への閲覧・貸出を行った。</p> <p>③ 刊行物の発行等</p> <p>ア 研究紀要「都市政策研究」 本研究所の研究成果等を紹介した。 発行部数：650部</p> <p>イ URC ニュース 本研究所の最新情報や活動報告をメール等で発信（5回）。</p> <p>ウ URC Library Information 都市政策資料室の最新情報をメール等で発信（9回）</p> <p>④ 都市セミナーの開催（2回） 福岡のまちづくりに関する情報やアジアの都市政策関係の情報を講演等を中心に広く発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「変貌する中国の大都市 ー上海市・広州市の最新情報を中心にリポーター」 (令和元年8月1日 参加者：102名) ・「都市のアップデート戦略 ークリエイティブな都市に向けてー」 (令和元年11月22日 参加者：99名) ・2月に予定していた第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <p>⑤ ナレッジコミュニティの開催（3回） 福岡のまちづくりに関する情報を小規模のセミナー形式で発信し，交流の場を提供した。</p>

区 分	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡のグローバルポジションを考察 －海外の都市との比較を通じて－」 (令和元年7月27日 参加者：27名) ・「みんなが助かる社会とは －外国人の困りごとや備えについて考えよう－」 (令和元年10月31日 参加者：36名) ・「”一人ひとり”の多様性と防災 －オリジナルな防災カード作成を通じて考える－」 (令和2年1月30日 参加者：26名) ・3月に予定していた第4回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <p>(4) 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民まちづくり研究員の受入れ（5名） 市民から研究員を募り，調査研究を行った。 ② 会員研究員の受入れ（2名） 自主的に調査研究したいと申出があった賛助会員を受け入れ，活動を支援した。 ③ インターンシップの受入れ（1名） 大学生等を対象に，本研究所で実務を経験することを通じて，福岡のまちづくりへの関心を深め，ひいては都市政策研究者の育成を図るため，夏季インターンシップ受入れを行った。
2 受託事業	<p>受託調査研究等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市総合計画データ集等作成業務委託 ・「校区データ集」更新等業務委託 ・福岡のスタートアップエコシステムに関する現状分析業務委託 ・福岡地域戦略推進協議会事務局業務委託 ・ふくおか都市圏まちづくりプラン（第6次福岡都市圏広域行政計画）策定支援業務委託